

# 成果事例（三河港蒲郡地区における物流機能の強化とクルーズ船誘致）

【実施主体名：愛知県】

## H28年度 三河港蒲郡地区における物流機能強化とクルーズ船誘致強化基盤整備検討調査

### ○ 基盤整備の必要性（申請時の課題）

三河港蒲郡地区では、輸出用完成自動車の取扱い等物流拠点としての役割を担ってきたが、取扱量の増加により既存施設では対応できない状況にあった。また、当該地区は豊富な観光資源を有しており、地域の活性化を目的として、貨物船だけでなくクルーズ船などの多目的利用等に対応するために必要な岸壁等の整備が求められていた。

### ○ 調査結果

- ・輸出自動車量の需要予測を行い、必要とする積込ヤード（ふ頭用地）や岸壁の規模を検証
- ・クルーズ船受入に必要な岸壁の規模や乗船客等の導線を踏まえた受入体制の検証

### ○ 調査成果の活用（基盤の事業化）

- ・12万トン級のクルーズ船が寄港可能な岸壁整備【L=100m延伸】（H31.3供用）

### ○ 関連する民間の活動状況



【愛知県撮影】



大型豪華客船「ダイヤモンド・プリンセス」の2019年第1シーズンの初寄港地に蒲郡が選ばれ、平成31年3月27日に初寄港した。

蒲郡市HP

【対象地域：愛知県蒲郡市】



整備箇所



【整備箇所拡大図】

モータープール  
（民間用地）

積込ヤード  
（ふ頭用地）  
6ha

クルーズ船



岸壁の利用と整備状況

L=100m

岸壁（水深11m）整備（L=100m）

【輸出用完成自動車の搬入】



WALLENIUS WILHELMSEN

# 成果事例（志布志港における物流機能の強化）

【実施主体名：鹿児島県】

## H27年度 志布志港を中心とした物流機能強化による地域活性化のための基盤整備検討調査

### ○ 基盤整備の必要性（申請時の課題）

志布志港は、南九州の飼料穀物に係る物流拠点機能や南九州の木材輸出の窓口としての機能を担っているが、パナマ運河拡張により大型化する貨物船（パナマックス）に対応するための岸壁が整備されていない状況であった。また、木材の取扱量が増加するため、大量に木材を保管するための蔵置ヤードの整備も十分でないため、これらの港湾施設の整備が急務であった。

### ○ 調査内容

- ・今後取扱量が増加する木材ヤードの規模の検証（既存ヤードの効率的利用に向けた方策を検討）
- ・穀物を輸送する大型貨物船が入港可能な大水深岸壁の整備にあたっての課題整理

### ○ 調査成果の活用（基盤の事業化）

- ・埠頭用地整備（H29.4事業着手）

### ○ 関連する民間の活動状況



H29.7志布志市で立地協定締結式

港湾背後で民間企業による整備投資が進展しており、（株）桜島は志布志港隣接地にて飼料・原料の保管や管理を行う定温倉庫を新設する。

新若浜地区の埠頭用地整備により効率的な輸送が可能になるため、

**輸送コストが約1割削減※**

される見込み

※ 国土交通省港湾局の試算  
（出典：交通政策審議会港湾分科会資料）

【対象地域：鹿児島県志布志市】

位置図



H30.3「志布志第二定温倉庫」  
((株)桜島)竣工



【パナマックスイメージ】

パナマックス (船型6~7万DWT程度)	<7万DWT級の例> 満載喫水 12.0m 全長 225m
-------------------------	-------------------------------------